



農の未来ネット

NO.6

特定非営利活動法人 農の未来ネット

理事長：倉本器征（東京農工大学名誉教授）

発行責任者：田沼 繁（農の未来ネット事務局：電話&FAX 042-313-3620）

編集長：西村正昭

みなさまへのご報告

「**認証書**」が届き、
晴れて**NPO法人**・・・

NPO法人 農の未来ネット

事務局長 田沼 繁

秋風が吹き始めたこの頃ですが、皆様は如何、お過ごしでしょうか。この度、平成21年8月26日付け、21生都管法特第836号をもって、東京都知事の認証書が農の未来ネット事務局宛に届き、正式に特定非営利活動法人の設立が認められました。ここに、会員、支援者等ご協力・ご支援いただいた方々に謹んでご報告申し上げます。

桜が咲き乱れる3月28日に設立総会を開いてから早半年。この間、認証を受けるために東京都の窓口（東京都生活文化スポーツ局都民生活部管理法人課NPO法人係）とやり取りを行ってきましたので、ご紹介をします。NPO法人を立ち上げるためには、まず設立総会を開き、活動の指針である定款を決定する必要があります。申請は、主たる事務所が都道府県をまたがらなければ事務所のある都道府県に申請し、事務所が複数の都道府県に設置する場合は内閣府に申請することとされています。農の未来ネットは、事務所が東京都東村山市ですので、東京都に申請をいたしました。東京都のNPO法人窓口申請書類を提出するのですが、設立認証申請書、定款、役員名簿及び役員のうち報酬を

受ける者の名簿、各役員の就任承諾書及び宣誓書の写しなど、11種類の書類が必要となります。東京都の窓口では、事前の設立申請相談を行っており、とくに、定款に盛り込むべき内容等の精査を丁寧にしてくれます。行政書士など専門家でなくても申請が可能です。農の未来ネット事務局（担当：田沼）では、4月中旬に申請相談に出向き、定款等の書類を精査してもらいました。精査後、関係書類とともに「特定非営利活動法人設立認証申請書」を提出したのが4月22日で、東京都に收受されたのが4月27日です。東京都では、東京都公報において2ヶ月間、一般に縦覧することになっています。東京都公報に掲載されるまでの期間が長かったという感じです。約1ヶ月後の東京都公報5月22日（金）付け、第14430号に公告されました。

その後、縦覧の期間中は何の音沙汰もありませんでしたが、8月に入ってNPO法人担当者から連絡があり、NPO法人窓口に来るようにとお沙汰です。定款、設立総会議事録、事業計画書、収支予算書の修正を行うようにと指導され、2度都庁に出向き、電話でのご指導も受けました。そして、「特定非営利活動法人設立認証申請」に係る補正書類の再提出を求められたのです。そんなこんなで、どうにか「認証書」をいただくことができたというわけです。9月15日に法務局へのNPO法人登記も済みました。名実ともに**特定非営利活動（NPO）法人農の未来ネット**です。皆さんの温かいご支援を受けて元気な活動を展開して参ります。今後ともご理解・ご支援、ご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

産直事業報告



オーダーメイド



“わたしの納豆”



消費者モニター調査結果について

先月号の農の未来ネットNo.5で、納豆 然ど納豆 オーダーメイド「わたしの納豆」受託事業のご紹介の際、皆様のご意見を伺う消費者モニター調査を行うことを申し上げました。NPO法人食農研センターワークスフィアピンデンの全面的なご協力を得て実施し、その結果がまとまりましたのでご報告いたします。

調査の実施期間は、8月31日（月）から9月4日（金）までの5日間でした。約180名の方に「わたしの納豆」とアンケート用紙をお渡しし、107名（約6割）の方からご回答を頂きました。ご協力有り難うございました。調査項目は、年代・性別や納豆を食している回数の基礎項目と、「わたしの納豆」に対する旨味、風味、柔らかさ、価格の質問と自由な意見をお聞きしました。

フィアピンデンのお店は、御茶ノ水の民間オフィスの多いところにあります。また、国産農産物95%のお弁当を提供していて、常連客も多く、食にこだわりのあるお客さんが多い、そんな条件下で調査は行われました。お答えいただいた年代は、1位は50才代の方が29名（27.1%）、30才代、40才代、60才代の方はそれぞれ20%前後でした。性別では、女性が圧倒的に多かったです。食べる回数は、週1回以上食べる方は全体の約75%で、頻りに納豆を食べていることが伺われました（表1）。

さて、「わたしの納豆」の評価はどうだったでしょうか。旨味では95%以上の方がまろやか、コクがあると回答しています（表2）。また、風味でも、85%以上の方が大豆の香り、納豆の香りがあると答えてくれました（表3）。柔らかさでは、柔らかいと丁度いいが46.8%に対し、硬い、市販と同じが52.4%と半数を超えており、蒸らし時間の調整に課題があるようです（表4）。最後に価格です。

注文したいと答えた方の26.2%に対し、高いと答えた方は43.9%です（表5）。現在のスーパーマーケットで売られている納豆の値段に比べれば高いと感じるのは自然な感性かもしれませんが。価格についても、再考をする必要があるようです。

自由意見については、74名の方がご意見を寄せてくれました。ほとんどの方が、美味しかった、納豆の香りがとても良い、大豆の味がしっかりしている、昔ながらの納豆を感じたなど、「わたしの納豆」を評価してくれています。中でも、今まで納豆はタレとカラシ味で食べてただけで大豆の味を忘れていた、この納豆は本来の納豆の味を思い出させてくれたという言葉には感激でした。一方、価格面では、家計を考えると市販品のほうがいいかな、大豆持ち込みで400円は高い、市販のものとの価格差がありすぎるなど、日常食べるにはちょっとというご意見がありました。ご要望では、カラシは不要、レシピをホームページなどで公開して、小さいパックにしてほしいなどです。

最後に、自由意見を拝見して感じたことは、私どものオーダーメイド”わたしの納豆”に対する説明不足があって、市販カップ売りと誤解されている節もみられ、大変失礼致しました。スーパー店等の販売納豆は、オートメーション生産されていますが原材料大豆の高騰などで1パップ容量を40g~30g程度に減らして対応しています。「わたしの納豆」は、この度のモニター調査では正味50gで提供したところでした。これからも納豆の正味容量は50gを堅持していきます。いずれに致しても、オーダーメイド”わたしの納豆”のシステム（仕組み）をわかりやすく皆様にご説明するよう努め、製造受託料金についても充分検討して参りたいと思います。

（田沼繁 記）

表1 食べる回数

毎日	15	14.0%
週2~3回	32	29.9%
週1日	34	31.8%
月2~3回	18	16.8%
月1回	6	5.6%
それ以下	2	1.9%
計	107	

表2 旨味

まろやか	46	43.0%
コク	52	48.6%
感じない	2	1.9%
市販品同	6	5.6%
N	1	0.9%
計	107	

表3 風味

大豆の香り	56	52.3%
納豆の香り	38	35.5%
感じない	1	0.9%
市販品同	6	5.6%
N	6	5.6%
計	107	

表4 柔らかさ

柔らかい	45	42.1%
硬い	40	37.4%
市販品同じ	16	15.0%
丁度いい	5	4.7%
N	1	0.9%
計	107	

表5 価格

注文したい	28	26.2%
高い	47	43.9%
N	32	29.9%
計	107	

特定非営利活動法人

農の未来ネット 設立記念セミナー

平成の農業はオレがやる！
～魅力への誘い～

本年8月26日に東京都から特定非営利活動法人の認証受け、NPO 法人農の未来ネットが誕生しました。このNPO 法人は、意欲ある団塊世代、社会人や青年・学生などの農業・農村に興味を持つ方々を対象に、アグリ・ボラバイト（協働援農）事業等を行います。アグリ・ボラバイト（協働援

農）事業は、農作業体験を通して将来就農したい、農業・農村を理解したいという方に対し、受入農業生産者が、ボラバイト希望者に一定の労働対価を支払い、お互いの責任と自覚で生産活動を協働するというものです。私たちNPO 法人はこの活動を通して、農業・農村に多くの人を誘い、生産基盤の充実、農村の活性化に寄与したいと考えています。

この度、NPO 法人農の未来ネットが東京都から認証を受け設立したことを記念して、ボラバイトを創造したサンカネット（株）スタッフの山本哲哉氏、都市との交流に明るい船橋農産物供給センター代表理事の飯島幸三郎氏、農水省審議会委員等でもご活躍中の東京大学大学院の鈴木宣弘教授を講師にお迎えしての設立記念セミナーを企画しました。講師の先生方には、平成の農業はオレがやる！と題し、大地を耕す魅力、農業の魅力について大いに語り、平成農業へ人を誘う展望についても語って戴きます。

つきましては、私どもの設立記念セミナーの趣旨をご理解いただき、万障お繰り合わせのうえ、ご参加いたたきたくご案内申し上げます。

開催日時 2009年11月7日（土）13：30
～17：00

会場 東京大学弥生講堂
アネックスセイホクギャラリー
（地下鉄南北線 東京大学前駅下車徒歩1分）

参加費 500円（資料代）

定員 先着80名

申込み締切り 2009年10月30日（金）

【講演テーマ】

- 基調報告 「ボラバイトは農業の救世主になるか～現状と課題」 山本哲哉
- 実態報告 「実践者は平成農業をこう切りひらくー農業法人と就農」 飯島幸三郎
- 提言報告 「魅力ある農業・農村の発展に向けて」 鈴木宣弘

お申し込み【URL】 <http://www.nou-mirai.org/>

祝！ 農の未来ネットNPO法人認証 取得記念レセプションお知らせ

バンバカーン！

この度、皆様の温かいご支援とご協力を得て、この8月26日（水）に農の未来ネットは、東京都から特定非営利活動法人（通称：NPO法人）の認証を得ることができました。有り難うございました。NPO法人認証に当たり、改めて農業・農村に人を誘い、将来の担い手や農業・農村応援団づくりを中心事業を着実に進めていく決意です。

これまでの取り組み状況やこれからの事業内容等をご支援・ご協力賜ったみなさまにご報告するとともに、NPO法人へのご指導をご助言を賜りたく認証記念レセプションを企画しました。

ご多忙中のことと存じますが、万障お繰り合わせのうえ、是非ともご出席いただきたいと思っております。

今後とも、当NPO法人へのご支援とご鞭撻をいただきつつ、会員・ご支援者のみなさんと楽しく交流を深めていきたいと思っております。

開催日 **10月24日（土）**

16:00～18:00

場 所 NPO法人食農研センター
ワーカーズフェア・ピンデン
千代田区神田駿河台3-5

TEL 03-3292-5077

<交通機関>

東京メトロ千代田線「新お茶の水」駅
又は、都営地下鉄新宿線「小川町」駅

内 容 理事長あいさつ

経過と今後の取り組み

懇談・交流（フェアピンデン特製の
国産素材お料理をお楽しみいただきます。）

参加費 2000円

*詳細等は別途郵送させていただきます。

〒189-0002

東京都東村山市青葉町3丁目44番30号

NPO法人農の未来ネット（事務局長：田沼 繁）

メール hasegawa@nou-mirai.org

TEL&FAX 042-313-3620

あぐ・ぼら教室のお知らせ

（アグリ・ボラバイター事前学習会）

開催日時 10月3日（土）【受講費・懇親会費無料】

学習会 16:00～17:30

懇親会 17:30～19:00

場 所 NPO法人 食農研センター ワーカーズフェアピンデン

内 容 ①農業事情のあれこれ

②援農体験のお話

③受入生産者の概要説明

④アグリ・ボラバイター（協働援農者）と受入生産者との対面契約の方法

⑤国産素材使用の料理を楽しむ懇談会

教室受講方法等はNPO法人農の未来ネットホームページをご欄下さい。

【URL】 <http://www.nou-mirai.org/>

編集後記

お待たせしました。農の未来ネットがNPO法人として認証されました。名実ともにNPO法人農の未来ネットとしてアグリ・ボラバイト（協働援農）事業を本格的に展開していきます。その一つとして「第一回あぐ・ぼら教室」を10月3日（土）午後4時から東京都千代田区神田駿河台にあるNPO法人・食農研センター・ワーカーズフェアピンデンで開くことにしています。学習をした後は、国産素材を使った料理を楽しむ懇談会を予定しています。学び、飲み、食べながら食と農について楽しく語り合いたいと思います。また、11月7日には、NPO法人設立を記念するセミナーを開きます。基調報告の山本哲哉さん（サンカネットスタッフ）、実態報告の飯島幸三郎さん（船橋農産物供給センター代表理事）、提言をしていただく東京大学大学院の鈴木宣弘教授をお迎えしてセミナーを開催します。設立記念セミナーを成功させ、大きな弾みをつけて飛躍させようと、理事・監事・事務局は全力をあげて取り組んでいます。オーダーメイド「わたしの納豆」のモニターアンケート調査を実施しました。監事の石井正江さんらの献身的なご協力を得て多くの方からアンケートの回答をいただきました。その結果を踏まえて「わたしの納豆」の受託事業を開始します。みなさんの応援をよろしく願います。（西村）

